

# 平成29年度病害虫発生予報第7号

平成29年10月2日  
愛知県

## 普通作物

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	吸実性カメムシ類	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±

### ・留意事項

水稻では、トビイロウンカによる坪枯れが、東三河地域で9月上旬から増えてきています。収穫期を迎えているほ場では、刈り遅れのないようにしましょう。

コシヒカリなど早期栽培水稻では、イネ縞葉枯病の発生が多い状況でした。収穫後のひこばえは、ヒメトビウンカの生息場所になります。ヒメトビウンカは発病株から病原ウイルスを保毒し、次作の伝染源となります。次作の伝染源を増やさないために速やかに水田を耕起し、ひこばえを放置しないようにしましょう。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	やや多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の降水量は平年並か少ない	+ ±~-
カキ ウンシュウミカン	カメムシ類	やや多い	県全域	予察灯における誘殺数はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月下旬のカキにおける被害果率は平年並	+ ± ±

### ・防除対策

#### [ナシ・黒星病]

本日発表の「ナシ黒星病の秋季防除情報」を参考にしてください。

#### [カキ、ウンシュウミカン・カメムシ類]

本日発表の「果樹カメムシ類情報第4号」を参考にしてください。

### ・留意事項

ナシうどんこ病、ブドウべと病が発生しているほ場では、次作への伝染源量を減らすため、落葉を適切に処分し、防除を実施しましょう。

カキ落葉病の発生量が、やや多いほ場があります。落葉は伝染源となるため、適切に処分しましょう。

## 野菜

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	べと病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
	アブラムシ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
キャベツ	黒腐病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	オオタバコガ	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	- ±
	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
	シロイチモジ ヨトウ	多い	県全域	9月下旬の発生量は多い フェロモントラップにおける誘殺数は多い	+ +
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない	-
	黄化葉巻病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並か高い 10月の降水量は平年並か少ない	± ±～+ ±～-
	ハダニ類	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並か高い	± ±～+
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	9月下旬のキャベツにおける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	- ±

### ・防除対策

[ハクサイ・アブラムシ類]

アドマイヤーフロアブルやウララDFなどで防除しましょう。

[キャベツ・シロイチモジヨトウ]

9月1日発表の「平成29年度病害虫発生予察注意報第5号」を参考にしてください。

### ・留意事項

イチゴでは、炭疽病の発生株を見つけたら抜き取り、適切に処分しましょう。ハダニ類の発生が多いほ場があります。多発すると防除が難しくなるので、系統の異なる薬剤でローテーション防除しましょう。訪花昆虫や天敵を利用する場合は影響日数に注意して薬剤を選定しましょう。

フェロモントラップにおける誘殺数は、コナガは豊川市、オオタバコガとハスモンヨトウは豊橋市と田原市で多い状況です。これらのチョウ目害虫の発生状況に注意するとともに、定期的に防除を行いましょ。オオタバコガについては、9月1日発表の「オオタバコガ情報第2号」を参考にしてください。

気温の高い状態が続くと、ハイマダラノメイガの発生が続くおそれがあります。今後の気温の推移とは場での発生状況に注意して、防除を行いましょ。

## 花き

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ハスモンヨトウ	平年並	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±
	オオタバコガ	平年並	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±

### ・留意事項

オオタバコガは例年、10月に発生量が最も多くなります。着蕾期以降に食害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょ。9月1日発表の「オオタバコガ情報第2号」を参考にしてください。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」(アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/investigation.html>)を参照してください。

### 参考

東海地方 1か月予報(名古屋地方気象台9月28日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い : 20% 平年並 : 40% 高い : 40%

〔降水量〕 少ない : 40% 平年並 : 40% 多い : 20%

〔日照時間〕 少ない : 20% 平年並 : 40% 多い : 40%